

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0205	ユニバーサルデザイン事業					01	03	01	01	183	52
	事業名	0205	ユニバーサルデザイン事業	所属	130200	健康福祉部障がい福祉課 総務係	連絡先(記入者) 中出 光美 22 - 9672					
基本施策	40	ユニバーサルデザインの理念を普及させる										

概要	事業概要	公共施設が、誰もが分かりやすく、利用しやすく、心地よいものとするため、庁内推進委員会を開催し、年齢、性別及び国籍の違い、障がいの有無などを問わず、すべての人が自由に社会参画できる暮らしやすいまちづくりを目指し、総合的なユニバーサルデザインの取組みを推進する。						事業期間										
								平成	18	年度	～	平成	年度					
根拠法令・要綱等	三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例・伊賀市ユニバーサルデザイン庁内推進委員会設置要綱 ほか						審議会・委員会等	ユニバーサルデザイン庁内推進委員会										
補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号	1									
対象(誰を、何を)	一般市民及び市職員						※対象件数		単位		H23実績		H24実績		H25見込		H26目標値	
成果(どうする)	ユニバーサルデザインの理念の普及啓発を行うことにより、障がいの有無、年齢、性別等にかかわらず、すべての市民が社会のあらゆる分野の活動に参加でき、安全かつ快適な生活を営むことができるあらかじめ配慮されたユニバーサルデザインのまちづくりができる。																	
H24実施内容	○ユニバーサルデザイン庁内推進委員会においてNPO法人と協働で新庁舎建設におけるユニバーサルデザインの検討(トイレ・動線・表示等)を行った。(委員会開催回数2回、延参加人数40名) ○12月の障害者週間の際に、市内の商業施設において24年度から始まった「三重県おもいやり駐車場制度」の啓発チラシを配布し制度の普及啓発を行った。(チラシ配布数1,000枚)																	

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23	H24	H25	H26			
活動指標	開催数	回	目標 6.0 実績 2.0	目標 4.0 実績 2.0	4.0	4.0	庁内推進委員会の開催数		
	成果指標	協働活動回数	回	目標 1.0 実績 1.0	目標 1.0 実績 1.0	1.0	1.0	NPO法人や関係団体と協働で行った講演会や街頭啓発等の啓発事業の開催回数	

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。								特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									
	国費(補助率)									
	県費(補助率)									
	地方債									
	その他									
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)
[支出]	謝礼	0	0	90	145	145	145	145	145	当初予算 講師謝礼 50,000円×1人×1回 情報収集・打合せ謝礼 5,000円×8日 事務用品 30,000円 燃料費 139円×1.05×100ℓ×1.02 講師お茶・弁当代 1,650円 通信運搬費 7,000円 難聴者用磁気誘導ループ受信機購入費 50,400円
	消耗品費	28	28	30	28	28	28	28	28	
	事業用備品購入費	35		51						
	その他事務経費	5	20	24	22	22	22	22	22	
	小計(B)	68	48	195	195	195	195	195	195	
[人件費]	正規職員	人数 0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
	人件費	1,705	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数 人	人	人	人	人	人	人	人	
	人件費									
	小計(C)	1,705	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	
	合計(D=(B+C))	1,773	1,781	1,928	1,928	1,928	1,928	1,928	1,928	
[収支]	一般財源充当額(D-A)	1,773	1,781	1,928	1,928	1,928	1,928	1,928	1,928	
	(うち繰越金)									
	※前年度比	—	9	147	0	0	0	0	0	
	対象者あたり一般財源充当額									

必要性	8. 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
市民に対し、ユニバーサルデザインの理念の普及が困難になる。	やや遅れ	新しくできた公共施設のユニバーサルデザイン施設調査の実施	
関与の妥当性	協働の状況など		啓発事業や施設調査等をNPO法人や関係団体と協働で行っている。
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	委託・指定管理(非公募・随意)	直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度記載した改善策	平成22年度より庁内推進委員会は新庁舎建設のUD検討部会を兼ねているので、この部会での検討を通じて新庁舎建設後に、各部署の事業が「三重県のユニバーサルデザインのまちづくり施設整備マニュアル」に基づき実施されているかを点検するしくみをつくる。また、市民向けの講演会を開催し、啓発する。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいない。 庁舎建設が白紙になったため、庁舎建設UD部会での検討を通じての各部署の事業が「三重県のユニバーサルデザインのまちづくり施設整備マニュアル」に基づき実施されているかを点検するしくみづくりができなかったが、今年度公共施設の施設調査等を通じて改めて検討を行う。
現時点における課題及び課題に対する改善策	伊賀市全体としてユニバーサルデザインの理念の普及・実際の業務への反映に取り組んで行くには福祉部門のみではなく、建設部門等の分野も含めた幅広い部署で推進を進めていくことが望ましい。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	中 ひとみ	現状維持	各部署の庁内推進委員を中心に、各部署の事業が「三重県のユニバーサルデザインのまちづくり施設整備マニュアル」に基づき実施されているかを点検するしくみづくりを進めるとともに、講演会等を実施し、市民へユニバーサルデザインの理念を普及させていく。なお、平成26年度からは新設を予定している地域福祉課に業務の移管を行いたい。